

平和を願って

杉並区長 松田良吉



東西の冷戦構造の終えんを迎え、世界は今、核軍縮へと大きく変化しつつあります。

しかし、今なお世界の各地で紛争は絶えず、核兵器による脅威も存在しています。

杉並区では、昭和六三年三月三〇日区議会の議決をもって、恒久平和と核兵器の廃絶を願い、「杉並区平和都市宣言」を行い、宣言を实りのあるものにするため、各種の平和事業を実施してきています。

太平洋戦争を体験した我が国も、戦後半世紀を迎えようとする今日、戦争を知らない戦後世代が半数を超え、戦争そのものが遠い過去の出来事として忘れ去られようとしています。

このようなときにこそ、あの戦争の悲惨さを語り継ぐことが、平和を考えるうえで大切であると考え、戦争戦災体験集の発行を計画しました。

原稿の募集をしたところ、一六〇編を超えるご応募をいただきました。紙面の関係上すべての原稿を掲載することは出来ませんでした。その一つ一つが戦後四十数年を経た現在でも、心のなかに残っている悲惨な戦争体験や、平和の尊さ・大切さを訴えた内容のものです。

この戦争戦災体験集が多くの人に読まれ、区民の平和への願いが永遠に伝えられることを願ってやみません。

最後に、原稿をお寄せくださった方々、資料を提供してくださった方々に対して、心から感謝申し上げます。

平成五年三月

目次

口 絵
 平和を願って
 凡 例

杉並区長 松田 良吉

第一部 戦争中の杉並

杉並の戦中生活

戦災体験記	石川 身……………4
戦争の中の青春	石田 晶子……………6
戦中の生活体験	岩本 清子……………8
戦時下の日常生活より、 『二区民の思い出』	遠藤 寛……………10
杉並区戦争体験	岡田 篤也……………14
私の戦争体験記	粕谷 堯男……………16
戦争の悲惨と苦しさ	木崎サワ子……………18
戦中戦後のことについて	北 嶋 英 男……………20
二度の疎開	国谷 和 義……………24
戦争を体験して ——母と八人の子供たち——	倉 田 陽 子……………26
人生の一こま	小長谷 君代……………28
私の戦争体験	小松澤 慎二……………30

爪 痕

一枚の新聞

兵士の体験

我が町 松山通り

私の戦争体験

戦中の思い出

戦時下の杉並消防署

私の戦争体験

あの日あのころ

空襲と生活

昭和二〇年、東京大空襲	阿部政太郎……………58
私が太平洋戦争で体験したこと	荒川 宣章……………61
焼土に立って	伊藤 茂雄……………64
昭和二〇年三月四日の被爆体験記	井上 正治……………66
東京(杉並)大空襲の戦災・被災 の体験	今成 昌和……………68
国民学校五年生の日記を通して	大西 路男……………70
永福町・和泉一帯の空襲	小川 春夫……………74
東京空襲と広島原爆体験	尾崎 守夫……………76
逃げないで。自分たちの町は自分 たちで守ろう。火を消せ!!	坂野 光子……………79
戦争・戦災体験	笹岡 祥夫……………82
空 襲	東海林 重敬……………84

佐久間愛子……………34

清水 水速女……………36

善如寺一男……………38

曾根 藤子……………40

西原 豊子……………42

花岡 きくよ……………46

原田 弘……………48

福島 カツ……………52

宮澤 一郎……………54

東京最後の空襲	神保 いね……………	86
私の戦争体験記	杉本知枝子……………	88
五月二五日の空襲体験	高崎 慎一……………	90
戦争の悪夢	高山彦三郎……………	92
緑は生きている	立川清吉……………	94
私の戦争体験	富田亮一……………	98
戦争被災体験	仁木マサノ……………	100
東京大空襲を受けて	土方 晋……………	102
空襲とハンケチの思い出	福島玄一……………	104
私の空襲体験	堀越英男……………	106
戦中の思い出	牧野智恵……………	108
震災体験記	増井勢意……………	110
東京大空襲を思う	宮坂正直……………	112
戦時下での日常生活、学校生活を 顧みて(戦争末期のあのころ、あ の日々)	宮崎 浩……………	114
疎 開		
疎 開	嶋田 いね……………	118
学童集団疎開の回想	鈴木勝枝……………	120
戦争と母、そして疎開	高山都規子……………	122

疎開と食糧難のこと	土屋敏子……………	125
集団疎開の事	畑野玲子……………	128
太平洋戦争下の疎開	村木サワ……………	129
第二部 国内の様子		
空 襲		
空爆!! 火焰の表参道	浅倉勝義……………	134
原爆の広島三年間	石川隆次……………	136
新宿駅で空襲に遭う	岩出節子……………	139
私の空襲体験	岩村房子……………	140
遠い昔を偲んで	薄井八重子……………	142
東京大空襲 証の二品	倉持れい子……………	144
私の空襲体験	河野アサ子……………	148
東京大空襲の思い出	小林裕子……………	150
女学生の頃に	小林リヨ……………	152
大空襲の東京に残留して	阪田登茂子……………	154
若人に伝えたい私の戦争体験	佐藤利枝子……………	156
戦争に明け暮れた日々	清水錦子……………	160

東京大空襲の被災体験	白鳥とく……………	162
風雲急を告げて	竹沢芳子……………	166
東京大空襲の体験	竹中澄子……………	168
戦争戦災の体験記	中込サト……………	170
三月の大空襲―言問橋からとび下りて九死に一生、母ら四人を失う	中村かつ子……………	172
空襲	中村夫美子……………	174
戸籍上で死ぬ	野崎実……………	176
統制経済―戦争―空襲の思い出	長谷川新吾……………	178
暗闇の中の笑顔	長谷川米造……………	182
東京下町大空襲	早田好子……………	184
戦争に明け暮れた女学生時代	広瀬芳子……………	186
東京大空襲体験記	深沢収……………	190
防空地下室での患者さん看護と妊婦さん介助	福田移歩……………	192
東京空襲をうけて	松原栄作……………	194
私が戦争で見たもの	南澤美都子……………	196
東京大空襲	宮内良江……………	200
杉並区戦争戦災体験記	村岡裕……………	202
太平洋戦争における主婦の体験	梁川綾子……………	204

私の生活信条を決めた「空襲」	横井時燁……………	208
戦災を受けて	渡イツ……………	210
原 爆		
原爆体験記	岡保宣明……………	214
「原爆」生残りの証言	尾山俊二……………	217
原爆に想う	平野武夫……………	220
原爆による広島島の惨状は忘れない	村上篤徳……………	222
一滴の水	師岡金太郎……………	224
疎 開		
疎開の思い出	稲田明子……………	228
疎開の思い出	今井米子……………	230
私の戦争体験	遠藤和子……………	232
私の学童集団疎開	岡井洋人……………	234
疎開先の福井での大空襲	島田崑乃……………	236
学童疎開と私	常山喜久子……………	238
学童疎開記(抄)	中田重三郎……………	240
集団疎開・詩二編	牧寛……………	242

生活

戦争体験	荒井タカ……………	246
戦争体験	石橋照子……………	248
軍需工場へ動員されて	井上恒正……………	250
銃後日記の一こま	岩出豊造……………	254
終戦直後の窮乏生活体験	木暮正八……………	256
学生寮日記	清水義彦……………	258
戦争の傷跡	高山とみ子……………	261
私の戦争体験	樽美忠夫……………	262
私の人生の最も悲しき 辛い日々より	都筑初枝……………	264
太平洋戦争下の勤労働員	豊田兼子……………	266
女子挺身隊での体験	野辺光子……………	268
私の戦争青春時代	橋本久美子……………	272
今思うあのころ	邑上安弘……………	274
戦中生活を思う	矢内市三郎……………	276
私の戦争体験記	山本静……………	278
戦争哀史	若原静子……………	280

平和を願って

涙……………涙	安藤千枝……………	284
私の戦争体験記	梅田恒吉……………	288
戦中・戦後の子供の目	庄司芳昭……………	290
私の戦中・東京の思い出	鈴木光雄……………	292
ペンを槌 <small>つづ</small> に替えて	高松一子……………	294
—— 学徒勤労働員中の日々 ——	竹間哲夫……………	296
怒りと悲しみの涙	水崎正之助……………	298
沖繩戦に生きて!!		
第三部 従軍・抑留		
従軍		
応召の体験	青地重治……………	304
みじかくて長かった軍隊生活	浅井久雄……………	306
戦争終戦体験記	新井信三郎……………	308
敵前逃亡ではない	宇田川道芳……………	310
ラバウル航空隊で 不時着をした体験	内田和喜知……………	314
昭和二〇年三月一〇日前後の 学徒兵	大浦章郎……………	316

軍隊での生活	大久保吉明……………	318
戦争体験	尾形義三郎……………	322
奪われた青春	小熊重雄……………	324
ラバウル第一線主計として	奥村勉……………	326
戦争体験記	小越菊義……………	330
ある戦友の死	後藤重三郎……………	332
北支河北省晋県南智邱の戦闘	新川季吉……………	334
戦時下の母	神保清……………	336
八月一四日の兵庫沖	鈴木定雄……………	338
もう一つのインパール	太田保……………	340
北ビルマ戦線	太田剛道……………	342
戦場の悲惨さを伝えたい	太田剛道……………	342
私の体験記	中川慧……………	344
中国における私の軍隊生活	中島英吉……………	346
沈んだ輸送船	仁科善郎……………	348
——ある小さな戦争体験より——	仁科善郎……………	348
終戦直前、直後の北支戦線	細井和夫……………	350
梅雨前線	松崎卓一……………	352
戦時下の回想	村越尊詮……………	354
我が戦争体験記——台湾軍航空情報第四五七〇部隊にて——	湯原豁……………	356

引揚げ

私の終戦

宮下春枝……………

360

地獄の街の初日はちひ

山崎 辨……………

362

抑留

生き残った

石井 力……………

366

終戦

石垣正樹……………

368

半世紀前の想いを語る

斎須正治……………

370

俘虜記

須田義一……………

372

悲惨な思い出

大宮司仁……………

374

学徒出陣からシベリア抑留へ

寺尾信一……………

377

虜囚吟

増田 喬……………

379

資料

戦時年表……………

383

戦時下の杉並の様子

……………

396

用語解説……………

403

編集後記

凡例

本書に収録した作品は、いずれも原文を尊重したが、編集の都合上、次のように補正をした。

- 1 漢字は、原則として常用漢字を用いたが、固有名詞・戦時用語などについては、常用漢字表にない漢字も用いた。
- 2 明らかな誤字・脱字・当て字は訂正し、句読点のないものはこれを施した。
- 3 文中の個々の表記については、出来るかぎり訂正を加えずそのままとした。
- 4 改行のないもの、あるいは改行の極端に少ないものについては、原文を尊重しながら改行した。
- 5 それぞれの体験記には表題をつけ、町丁目・氏名・生年を冒頭に掲げた。
- 6 枚数超過や記述内容の不適切部分については、削除・修正をお願いした。
- 7 個人の氏名は、公人以外はアルファベットで表記した。
- 8 作品中の地名は、筆者が当時の地名を使用している場合は、そのままとした。
- 9 満州（旧満州国、現在の中華人民共和国東北部）は、そのまま使用した。



太平洋戦争関連地図